



「その先の道へ」

北海道ふるさと会連合会 会長

高橋 照美

会員の皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

本年5月の総会で引続き会長を務めることとなりました。一昨年4月の就任以来、「より多く・より広く・より良い会」を目指して活動して参りましたが、この1年間に企業会員として2社（雪印メグミルク株、大和ハウス工業株）に加入していただき、当会の加入団体は記念すべき100の大台に乗せることができました。

総務部会が担当する「新年交礼会」では、各ふるさと会、企業会員、協賛企業・団体合わせて195名が参加し、高橋はるみ知事からはビデオでご挨拶をいただきました。

事業部会が主催する恒例の親睦旅行は、2月に、「磯原・うぐいす谷温泉」への1泊2日の旅で35名が参加して、土浦予科練平和祈念会館、野口雨情記念館、吉田正音楽記念館などを巡りました。夜の懇親会は大いに盛り上がり懇親を深めました。4月には大厚木カントリークラブで第4回、9月には、青梅ゴルフ倶楽部で第5回のゴルフ大会を開催しました。日本ハムファイターズ応援野球観戦会では、7月4日の対

西武戦、9月7日の対楽天戦に参加し、一同、精一杯の応援をしました。

産直部会が主催する「産直フェア」は、今年も9月28日から4日間の開催で、23団体が出店しました。ふるさとの市・町からの応援を得て、観光PRや物産の紹介が行われました。

また、事務局が窓口となつて、協賛企業・団体の活動を支援することも行いました。株マツオが主催する春の「花見ジンギスカン」秋の「月見ジンギスカン」には、多くの会員が参加して、ジンギスカン料理を楽しみました。7月の都市対抗野球では、北海道代表のJ.R北海道チームを応援しました。

広報部会が発行するこの会報ですが、来年は当連合会創立40周年記念の行事に関する記事が掲載されます。又、当連合会の40年の歩みを綴る「記念誌」が発行されます。過ぎし40年を振り返り、更に、「その先の道へ」と一歩踏み出す決意を新たにいたしました。存じます。

皆様には当連合会の活動に二層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



知事メッセージ

北海道知事 高橋 はるみ

北海道ふるさと会連合会会報の発行に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

北海道ふるさと会連合会の皆様におかれましては、日頃から道政の推進に格別なるご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、各ふるさと会相互の交流と親睦をはじめ、毎年10月に代々木公園で開催される「北海道産直フェア」において、北海道の特産品の魅力を道外の多くの方々へ伝えていただくなど、様々な活動を通じて本道の魅力発信へのご支援をいただいております。皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。

道では、人口減少の克服に向けた地域創生に取り組んでまいりましたが、特に今年からは、これまでの取組で築いた基盤を十分に活かしながら、更にステップアップした取組を推進しているところです。年間230万人を超える好調なインバウンドや、高い評価を得ている道産食品の輸出拡大といった、本道への追い風をしっかりと捉え、新たなグローバル戦略の展開や攻め

の農林水産業の推進、未来を担う人づくりなど、大切なふるさと北海道をより豊かな地域に築き上げ、人々が輝く北海道の実現に向けて全力を尽くしてまいります。

来年、本道は「北海道」命名から150年という大きな歴史の節目を迎えます。

道としましては、先人から受け継いだ貴重な財産を守り、磨き、次の世代にしっかりと引き継いでいくとともに、各地域が持つ多様な魅力を広く道内外に発信する絶好の機会として、また、豊かな北海道づくりの契機となるよう、道民の皆様とともに、未来を展望した記念事業の実施に向けて取り組んでいるところです。

皆様におかれましては、引き続き、本道の取組にご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、今後とも、ふるさと北海道を力強く応援していただき、各地域の活性化にお力添えをいただければ幸いです。

結びに、北海道ふるさと会連合会のみならずのご発展、並びに皆様のご活躍とご健勝を祈念し、私からのメッセージといたします。